

杉並区の交流自治体

北海道名寄市の移住説明会を開催

12月18日正午から、杉並区役所で区の交流自治体である北海道名寄市の移住説明会が開催されます。名寄市は、1960年代後半をピークに人口が減少しています。こうした人口減少に歯止めをかけるため、平成24年4月に移住促進協議会を設置し、若い世代のUターンやIターンを促す活動を行っています。杉並区は、名寄市をはじめ国内8自治体とのこうした移住説明会の取り組みを広く区民に知らせるために、広報紙やチラシなどで周知しています。

名寄市は、北海道北部の中心都市ですが、1960年代後半をピークに人口が減少、1987年の国鉄民営化に伴う合理化や製紙工場の合理化により人口が急減し、過疎地域の指定を受ける結果となりました。

名寄市では、夏は広大な土地に咲くヒマワリ500万本や澄んだ空は天体観測にはうってつけで、市立天文台「きたすばる」が有名です。一方、冬は氷点下30度ともなる厳しさですが、平成18年に「なよろの冬を楽しく暮らす条例」を施行し、その厳しさをまちの魅力として、スキーやカーリングなどのウィンタースポーツへの参加、ダイヤモンドダストに太陽光線が反射して柱状に輝くサンピラー、白樺の樹氷などの自然現象を楽しむ取り組みをまちぐるみで行っています。また、市内には総合病院や市立大学、市内循環バスも整備されていて、東洋経済新聞社の「住みよさランキング」では、北海道の都市の中で第一位ともなりました。



それでも、名寄市の平成28年11月末の人口は、28,302人で、人口は減少傾向が続いています。そこで、名寄市の魅力をより多くの人に伝えるため、移住促進協議会の主催で移住説明会を開催することとなりました。

移住説明会では、名寄で子育てを考えるきっかけとなるよう、名寄の自然や子育て環境、支援状況などをオンライン中継で市民と直接対話する対話会や移住相談窓口（求人・物件情報）を用意し皆さまのお越しをお待ちしています。なお、対話会に参加した方のうち先着60名に名寄のジャガイモをプレゼントします。

■北海道名寄市移住説明会

- ・日時 平成28年12月18日（日曜日）12：00～17：30
- ・場所 杉並区役所6階第4会議室
- ・内容 名寄市民とのオンライン対話会
第1回13：00～14：15 第2回15：00～16：15

【報道機関 問い合わせ先】

区民生活部地域活性化推進担当 電話3312-2111 内線3771